

ふ れ あ い

発行所；鳥取県人権教育推進協議会

鳥取市扇町21 県立人権ひろば21 ふらっと内

電話；0857 (22)0578 FAX；0857 (22) 0593

発行者；松 井 満洲男



市町村人権教育行政担当者会 開催される

3月7日に鳥取県教育委員会と鳥取県人権教育推進協議会の共催で標記の会が琴の浦高等特別支援学校を会場に開催されました。この会は「市町村の人権教育・啓発に関わる実践発表をもとにした意見交換や、県の人権教育・啓発等に関わる方向性の周知を通して、現在の人権教育・啓発の現状と課題を踏まえた社会教育における人権教育の推進のあり方を考える。」という趣旨で例年この時期に開催しています。今年も年度末のお忙しい時期にも関わらず、全県より約40名の行政担当者及び関係者の方に参加していただきました。

第1部の鳥取県教育委員会主催の会では、琴の浦高等特別支援学校の足立校長先生より学校の概要説明があり、その後実際に施設見学と学習中の生徒さんの様子を参観させていただきました。素晴らしい環境に参観者一同感心しきりでした。

第2部の鳥取県人権教育推進協議会主催の会は以下の通りです。

(1) 実践発表 日吉津村人権・同和教育推進協議会の改革

日吉津村人権・同和教育推進協議会 来海 操さん



日吉津村人権・同和教育推進協議会の組織は今まで「行政部会」「地域部会」「保学部会」「企業部会」「団体部会」の5部会で成っていました。しかし、活性化をめざし、協議会の名称変更と組織の改編に取り組みました。

まず、名称は「日吉津村同和教育推進協議会」から「日吉津村人権・同和教育推進協議会」に変更しました。

新しい組織として「小地域懇談会企画部会」「研修会企画部会」「研究大会企画部会」の3部会を発足。このような事業実行部会としたことで、成果が見えてきました。今まで30～40名だった研究大会の参加人数が70名に増えました。研修会も委員が協議をして講師を決定し、5回シリーズを組みました。小地域懇談会も「できることからやっ払いこう」ということで、まずはテーマの決定からスタートしました。そこで今年の

テーマは「子ども的人権」とし、各自治会で相談して小地域懇談の計画をしています。

このように少しずつ動き始め、活性化してきています。人権・同和教育推進協議会が主体的に活動するためには、今後どのように活動を進めていくのが課題だと結ばれました。貴重な実践発表をありがとうございました。

(2) 第39回人権尊重社会を実現する

鳥取県研究集会実施計画案について

<期 日> 2014年 7月31日(木)

<会 場> 全体会場 倉吉未来中心 大ホール

分科会場 倉吉未来中心 小ホール セミナールーム

新日本海新聞中部本社ホール 倉吉体育文化会館大研修室

湯梨浜町中央公民館講堂 湯梨浜町ハワイアロハホール

北栄町北条農村環境改善センター大研修室

倉吉交流プラザ視聴覚ホール 倉吉市上灘公民館

<日 程> 9:45~10:10 開会行事

10:10~11:40 講演

11:40~11:50 諸連絡

13:10~16:00 分科会 16:00 終了

※ 日程はあくまで現段階での予定です。ご了解ください。

<参加資料代> 1,500円

<参加規模> 2,000人

(3) グループ協議

<テーマ> 「各市町村人・同推協等の活性化に向けた取組について」



5グループに分かれ、「活動状況調査のまとめ」の冊子をもとに、各市町村ごとに取組や成果と課題、日頃の悩み等情報交換を行いました。

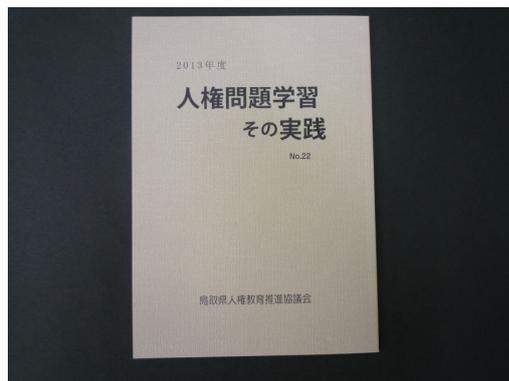
「推進がどうしても行政主導になってしまう。」「町民の実態として、人権問題を深く学んでいる人と学習していない人との格差があり、どう埋めていくかが課題。」「行政担当者も早いと2年で異動がある。次の世代を育てるのが課題。」「研修会への参加者の固定化。」などの課題が挙げられました。

そのような中で「小地域懇談会の推進者研修会のデモンストレーションが効果があった。」「小地域懇談会の最後に部落問題とつなげて終わるようにしている。」「“気づく、感じる、知る”をモットーにやっています。」という前向きな意見も出ていました。「活動状況調査のまとめ」の発刊につきましては、ご協力いただき、本当にありがとうございました。

2013年度 人権問題学習その実践 第22集 発行

年度末に毎年発行している「人権問題学習その実践」も22集となりました。全国人権・同和教育研究大会及び中国ブロック人権・同和教育研究大会で発表し、高い評価をいただいた3つの報告、全人教実践報告協力者として分科会の司会を担当された3名の方の報告、そして県内の小中学校の優れた実践を掲載しています。

どの内容も人権教育を推進していく上で大変参考となるものです。是非、手にとってご覧いただきますようよろしくお願いいたします。



も く じ

全国人権・同和教育研究大会 報告

◇ 「東日本大震災を通して『生き方』を問い直す」

北栄町立北条小学校 入江明代 河原久子

◇ 「やっています、民間企業でのA型事業所」

(株)M・Aサービス 岡田文

中国ブロック人権・同和教育研究大会 報告

◇ 地区学習会の今 ～生徒が主体的に学ぶ学習会をめざして～

南部町立法勝寺中学校 大下真史

全国人権・同和教育研究大会 分科会概要

◇ 第1分科会 第3分散会

一人権確立をめざす教育の創造—

全人教実践報告協力者 福原潤一

◇ 第3分科会 第3分散会

—進路・学力保障—

全人教実践報告協力者 尾坂紀生

◇ 第4分科会 第1分散会

一人権確立をめざす人づくり・組織づくり—

～地域の教育力・子ども会活動～

全人教実践報告協力者 村島祐子

実践の深まりをめざして

◇ 「つながる ひびく 成美の輪」

～主体的に取り組み、ともに学び、伝え合う子どもの育成をめざして～

琴浦町立成美小学校

◇ 「かかわり合い 支え合い 高め合う 子どもの育成」

米子市立美保中学校

来年度の研究会等 日程

前号でもお知らせしましたが、再度お伝えします。
特に全人教研究大会の参加資料代が来年度より4,000円から5,000円に値上がりします。ご注意ください。

○第66回全国人権・同和教育研究大会（香川大会）

- 1 期 日 2014年 12月6日（土）～7日（日）
2 会 場 全体会 メイン会場 高松市総合体育館メインアリーナ
サブ会場 アルファあなぶきホール
フレトピアホール（土庄町総合会館）
分科会場 高松市内公共施設（学校教育部会）
土庄町・小豆島町内公共施設（社会教育部会）

3 テーマ

「差別の現実から深く学び、生活を高め、未来を保障する教育を創造しよう
～部落問題を解決し、人権文化の創造をはかるために、
同和教育の充実と発展を通して人権教育・人権啓発を構築していこう～」
地元大会テーマ・・・「瀬戸の風にのせて 広がれ 人権と共生の社会」

○全人教教育課題別研究会～創る つながる きり拓く～（東京都） 7月25日（金）

○全人教「豊かな人権教育の創造」実践交流会（山口県宇部市） 7月31日（木）

○部落解放研究第48回全国集会（京都市） 10月20日（月）～22日（水）

○第39回部落解放・人権西日本夏期講座（鹿児島市）7月10日（木）～11日（金）

編集後記

琴の浦高等特別支援学校を訪れたのは小雪の舞い散る寒い日でしたが、心はとっても温かくなりました。生徒一人ひとりに配慮された立派な施設・設備ときめ細やかな教育課程。「生きる力」「働く力」「生活する力」の育成をめざして、一期生 38名の生徒たちが生き生きと活動していました。1人の女子生徒に「学校生活はどうですか？」と尋ねると「楽しいですよ。」と笑顔で返事が返ってきました。今年度、視察等で訪問された方は1,500名を超えたそうです。機会がありましたら、是非学校訪問をなさってみてください。知ることは理解の一步です。



今年度最後の「ふれあい」です。皆様方、今年度も大変お世話になりました。来年度もどうぞよろしくお願い申し上げます。（県人教 事務局）